

認定心理士の会から

改めて、認定心理士の会とは

認定心理士の会がどのような会なのか、改めて説明させていただきます。

認定心理士の会は、2016年4月に発足しました。認定心理士の資格を取得された方々に、心理学のさらなる学びの場を提供し、また認定心理士間の交流を促すことを意図しました。認定心理士を取得していれば、どなたでもメール申し込みで入会できます。会費は無料としています。

2017年1月に、地域ごとの交流を促すことを目的として、北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄の8つの地域支部会ができました。さらに、地域を超えた交流の場を設けようと、オンライン支部会ができました。コロナ禍以前から、Zoomミーティングを活用したイベントを行っていました。各支部会が主催する講演会、シンポジウム、セミナーなど、い

ずれも一般公開としています。お住まいの地域に関係なく、また資格を取得していなくても、無料で参加できます。現在は全てのイベントが、オンライン開催となっています。いずれ対面開催が復活しましたら、旅行を兼ねて、様々な地域のイベントにご参加ください。

他にも、シチズン・サイコロジスト奨励賞（社会で活躍している認定心理士を表彰）、シチズン・サイエンスプロジェクト（認定心理士が研究に参加）、社会連携セクション（年次大会で認定心理士がポスター発表）など、さまざまな事業を行っています。

認定心理士の会は、日本心理学会の中で、研究と社会を繋ぐ役割を担っている、と考えています。これからも会の活動を通して、認定心理士と研究者がお互いに、さまざまな知的な刺激を与え合える場を提供していきます。

（認定心理士の会運営委員会委員長 渡邊伸行）

若手の会から

高校生・学部生が発表できる場

日本心理学会若手の会では、学部生や高校生が自身の研究を発表できる場の一つとして「学部生・高校生プレゼンバトル」を日本心理学会大会内で毎年、企画しています。

私は現在、若手の会の幹事を務めています。学部2・3年生の時には第1・2回プレゼンバトルで自身の研究を発表した経験もあります。第1回プレゼンバトルが私の最初の学会での発表でもあり、今でも鮮明に記憶しています。そして、昨年度はプレゼンバトルの審査をしながら発表者の方々を当時の自分と重ねていました。

率直な感想は、「すごい!!!」の一言でした。私が発表した数年前よりも、格段に発表者全体がレベルアップしていました。当時は、「卒業研究の構想」を発表する人が多く、実験をすでに行っている人はごくわずかでした。しかし、昨年度のプレゼンバトルでは、多くの発表者がすでに行っている人ばかりで、そのデータに対して

統計分析も行っていることに驚きました。また、発表者の中にはヒトの行動の背後にあるプロセスを数式によって表現する「数理モデル」を用いた解析をしていた人もおり、高校生・学部生の研究レベルが確実に向上していることを実感しました。若手の会によって高校生・学部生が研究発表できる場を企画していることが、この向上にわずかながらでも貢献できていれば嬉しく思います。

また、若手の会では「異分野間協働懇話会」という研究会も毎年3月頃に開催しており、こちらは学部生でも研究発表が可能です。例えば、学部4年生の方はすでに行った卒業研究を発表していただいても良いですし、学部2・3年生の方は卒業研究の構想を発表していただくことも可能です。高校生や学部生の方には、あまり気負わずに研究発表の経験を積む最初の一歩として、是非、若手の会の企画に参加していただければと思います。

（若手の会幹事 富田健太）